

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 7 月 26 日 (2021.7.26)

【公表番号】特表 2020-520921 (P2020-520921A)

【公表日】令和 2 年 7 月 16 日 (2020.7.16)

【年通号数】公開・登録公報 2020-028

【出願番号】特願 2019-563582 (P2019-563582)

【国際特許分類】

A 6 1 K	45/06	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 K	9/48	(2006.01)
A 6 1 K	47/26	(2006.01)
A 6 1 K	47/12	(2006.01)
A 6 1 P	37/04	(2006.01)
A 6 1 K	31/454	(2006.01)
A 6 1 K	31/502	(2006.01)
A 6 1 K	31/5517	(2006.01)
A 6 1 K	31/5025	(2006.01)
A 6 1 K	31/416	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 K	31/4439	(2006.01)
A 6 1 K	31/663	(2006.01)
A 6 1 K	31/675	(2006.01)
A 6 1 K	31/506	(2006.01)
A 6 1 K	31/4995	(2006.01)
A 6 1 K	35/74	(2015.01)
A 6 1 K	31/337	(2006.01)
A 6 1 K	31/404	(2006.01)
A 6 1 K	31/44	(2006.01)
A 6 1 K	31/4188	(2006.01)
A 6 1 K	31/203	(2006.01)
A 6 1 K	31/715	(2006.01)
A 6 1 K	38/20	(2006.01)
A 6 1 K	38/21	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	45/06	
A 6 1 P	43/00	1 2 1
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 K	9/48	
A 6 1 K	47/26	
A 6 1 K	47/12	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
A 6 1 P	43/00	1 0 7
A 6 1 P	37/04	
A 6 1 K	31/454	
A 6 1 K	31/502	
A 6 1 K	31/5517	
A 6 1 K	31/5025	

A 6 1 K	31/416	
A 6 1 K	39/395	D
A 6 1 K	39/395	N
A 6 1 K	31/4439	
A 6 1 K	31/663	
A 6 1 K	31/675	
A 6 1 K	31/506	
A 6 1 K	31/4995	
A 6 1 K	35/74	
A 6 1 K	31/337	
A 6 1 K	31/404	
A 6 1 K	31/44	
A 6 1 K	31/4188	
A 6 1 K	31/203	
A 6 1 K	31/715	
A 6 1 K	38/20	
A 6 1 K	38/21	

【手続補正書】

【提出日】 令和3年5月18日 (2021.5.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ヒト対象における癌の治療に用いるための

ポリ [A D P-リボース] ポリメラーゼ (P A R P) を阻害する第 1 の薬剤；および
A M D 3 1 0 0、モガムリズマブ、カスアリニンおよびフコイダンからなる群から選択
される T r e g 遊走阻害剤、マクロファージ阻害剤、または抗原特異的免疫応答増強剤を
含んでなる第 2 の薬剤。

【請求項 2】

前記第 1 の薬剤が、A B T-7 6 7、A Z D 2 4 6 1、B G B-2 9 0、B G P 1
5、C E P 8 9 8 3、C E P 9 7 2 2、D R 2 3 1 3、E 7 0 1 6、E 7 4 4 9、
フルゾパリブ (S H R 3 1 6 2)、I M P 4 2 9 7、I N O 1 0 0 1、J P I 2 8
9、J P I 5 4 7、モノクローナル抗体 B 3-L y s P E 4 0 コンジュゲート、M P
1 2 4、ニラパリブ (Z E J U L A) (M K-4 8 2 7)、N U 1 0 2 5、N U 1 0
6 4、N U 1 0 7 6、N U 1 0 8 5、オラパリブ (A Z D 2 2 8 1)、O N O 2 2 3 1
、P D 1 2 8 7 6 3、R 5 0 3、R 5 5 4、ルカパリブ (R U B R A C A) (A G-
0 1 4 6 9 9、P F-0 1 3 6 7 3 3 8)、S B P 1 0 1、S C 1 0 1 9 1 4、シン
ミパリブ、タラゾパリブ (B M N-6 7 3)、ベリパリブ (A B T-8 8 8)、W W 4
6、2-(4-(トリフルオロメチル)フェニル)-7, 8-ジヒドロ-5 H-チオピラ
ノ [4, 3-d] ピリミジン-4-オール、およびそれらの塩からなる群から選択される
、請求項 1 に記載の使用のための第 1 および第 2 の薬剤。

【請求項 3】

前記第 1 の薬剤が、ニラパリブ、オラパリブ、ルカパリブ、タラゾパリブ、およびベリ
パリブ、またはそれらの塩からなる群から選択される、請求項 1 または 2 に記載の使用の
ための第 1 および第 2 の薬剤。

【請求項 4】

前記第1の薬剤がニラパリブまたはその薬学的に許容可能な塩を含んでなる、請求項1～3のいずれか一項に記載の使用のための第1および第2の薬剤。

【請求項5】

前記第2の薬剤が、抗PD-1剤、抗PD-L1剤、GITR（グルココルチコイド誘導TNFR関連タンパク質）刺激剤、抗CTLA4剤、抗TIM-3剤、抗LAG-3剤、抗IDO剤、腫瘍抗原提示を増強する薬剤（例えば、個別化癌ワクチン、自己抗原提示細胞、自己樹状細胞、人工抗原提示細胞）、ケモカインシグナル伝達剤、抗VEGF剤、およびサイトカインシグナル刺激剤からなる群から選択される抗原特異的免疫応答増強剤である、請求項1～4のいずれか一項に記載の使用のための第1および第2の薬剤。

【請求項6】

前記抗PD-1剤が、ペンブロリズマブ、ニボルマブ、PDR001、REGN2810（SAR-439684）、BGB-A317、BI 754091、IBI308、INC SHR-1210、JNJ-63723283、JS-001、MED10680（AMP-514）、MGA-012、PF-06801591、REGN-2810、TSR-042、アテゾリズマブ、アベルマブ、CX-072、デュルバルマブ、FAZ053、LY3300054、PD-L1ミラモレキュール、PDR-001、カムレリズマブ（HR-301210）、BCD-100、AGEN-2034、CS1001、Sym-021、LZM009、KN-035、AB122、ゲノリムズマブ（CBT-501）、AK 104、GLS-010、BGB-A333、SHR-1316、およびCK-301からなる群から選択される、請求項5に記載の使用のための第1および第2の薬剤。

【請求項7】

前記抗PD-L1剤が、アテゾリズマブ、デュルバルマブ、アベルマブ、LY3300054、BGB-A333、SHR-1316、およびCK-301からなる群から選択される、請求項5に記載の使用のための第1および第2の薬剤。

【請求項8】

前記抗VEGF剤が、ベバシズマブ、パゾパニブ、スニチニブ、ソラフェニブ、アキシチニブ、ボナチニブ、レゴラフェニブ、カボザンチニブ、バンデタニブ、ラムシルマブ、レンバチニブ、およびziv-アフリベルセプトからなる群から選択される、請求項5に記載の使用のための第1および第2の薬剤。

【請求項9】

前記癌が、子宮内膜癌、乳癌、卵巣癌、子宮頸癌、卵管癌、原発性腹膜癌、結腸癌、肛門性器領域の扁平上皮癌、黒色腫、腎細胞癌、肺癌、非小細胞肺癌、肺の扁平上皮癌、胃癌、膀胱癌、胆嚢癌、肝臓癌、甲状腺癌、喉頭癌、唾液腺癌、食道癌、頭頸部の扁平上皮癌、前立腺癌、膵臓癌、中皮腫、肉腫、および血液癌からなる群から選択される、請求項1～8のいずれか一項に記載の使用のための第1および第2の薬剤。

【請求項10】

ポリ[ADP-リボース]ポリメラーゼ（PARP）を阻害する第1の薬剤；および制御性T細胞（Treg）阻害剤、マクロファージ阻害剤、または抗原特異的免疫応答増強剤を含んでなる第2の薬剤を含んでなる、医薬組成物。

【請求項11】

前記第1の薬剤が、ABT-767、AZD 2461、BGB-290、BGP 15、CEP 8983、CEP 9722、DR 2313、E7016、E7449、フルゾパリブ（SHR 3162）、IMP 4297、INO1001、JPI 289、JPI 547、モノクローナル抗体B3-LysPE40コンジュゲート、MP 124、ニラパリブ（ZEJULA）（MK-4827）、NU 1025、NU 1064、NU 1076、NU1085、オラパリブ（AZD2281）、ONO2231、PD 128763、R 503、R554、ルカパリブ（RUBRACA）（AG-014699、PF-01367338）、SBP 101、SC 101914、シン

ミパリブ、タラゾパリブ（BMN-673）、ベリパリブ（ABT-888）、WW 46、2-（4-（トリフルオロメチル）フェニル）-7, 8-ジヒドロ-5H-チオピラノ[4, 3-d]ピリミジン-4-オール、およびそれらの塩からなる群から選択される、請求項10に記載の医薬組成物。

【請求項12】

第1の薬剤がニラパリブまたはその薬学的に許容可能な塩を含んでなる、請求項10または11に記載の医薬組成物。

【請求項13】

第2の薬剤が、抗PD-1剤、抗PD-L1剤、GITR（グルココルチコイド誘導TNFR関連タンパク質）刺激剤、抗CTLA4剤、抗TIM-3剤、抗LAG-3剤、抗IDO剤、腫瘍抗原提示を増強する薬剤、ケモカインシグナル伝達剤、抗VEGF剤、およびサイトカインシグナル刺激剤からなる群から選択される抗原特異的免疫応答増強剤である、請求項10～12のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項14】

前記抗PD-1剤が、ペンブロリズマブ、ニボルマブ、PDR001、REGN2810（SAR-439684）、BGB-A317、BI 754091、IBI308、INC SHR-1210、JNJ-63723283、JS-001、MED10680（AMP-514）、MGA-012、PF-06801591、REGN-2810、TSR-042、アテゾリズマブ、アベルマブ、CX-072、デュルバルマブ、FAZ053、LY3300054、PD-L1ミラモレキュール、PDR-001、カムレリズマブ（HR-301210）、BCD-100、AGEN-2034、CS1001、Sym-021、LZM009、KN-035、AB122、ゲノリムズマブ（CBT-501）、AK 104、GLS-010、BGB-A333、SHR-1316、およびCK-301からなる群から選択される、請求項13に記載の医薬組成物。

【請求項15】

前記抗PD-L1剤が、アテゾリズマブ、デュルバルマブ、アベルマブ、LY3300054、BGB-A333、SHR-1316、およびCK-301からなる群から選択される、請求項13に記載の医薬組成物。

【請求項16】

抗VEGF剤が、ベバシズマブ、パゾパニブ、スニチニブ、ソラフェニブ、アキシチニブ、ボナチニブ、レゴラフェニブ、カボザンチニブ、バンデタニブ、ラムシルマブ、レンバチニブ、およびziv-アフリベルセプトからなる群から選択される、請求項13に記載の医薬組成物。